

ドライブレコーダー機能付き 12インチデジタルインナーミラー

「PRD52C取付説明書・取扱説明書」



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載しております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後はいつでも見る事ができる所に保管してください。セットの中に保証書カードが添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

 PORMIDO

目次

目次.....	2	録画画面について.....	25
はじめに.....	3	再生メニュー画面について.....	25
安全上のご注意.....	3	再生画面について.....	26
ご使用上のお願い.....	5	再生静止画面について.....	26
梱包内容.....	9	設定.....	27
各部名称.....	10	設定内容一覧.....	27
製品仕様書.....	11	メモ리카ード.....	28
タッチパネルの操作について.....	12	ループ録画.....	29
取付方法.....	13	録音.....	29
取付手順を確認する.....	13	衝撃センサー.....	29
シガープラグコードを接続する.....	13	駐車監視(衝撃感知).....	30
駐車監視電源ケーブルを接続する.....	14	リアカメラ上下反転(180°).....	31
日時を設定する.....	15	リアカメラ鏡像.....	31
本体を取付ける.....	15	画面表示.....	31
フロントカメラを取付ける.....	18	アイコンと日付/時間表示.....	32
リアカメラを取付ける.....	19	明るさ.....	32
動作を確認する.....	20	音量.....	32
映像を取る.....	22	日時設定.....	33
電源をONにする.....	22	表示言語.....	34
電源をOFFにする.....	22	GPS位置情報.....	34
リセットスイッチについて.....	22	スピード表示単位.....	34
走行画面について.....	23	スピード表示.....	35
※フロントカメラ・リアカメラ		バックガイドライン.....	35
ズーム機能を調整するについて.....	23	ズーム機能.....	35
※液晶モニターの明るさを調整..		設定初期化.....	36
する.....	23	本体情報.....	36
※カメラ画像のアングルを調整す		映像を見る.....	37
る.....	24	本体で映像を再生する.....	37
走行画面表示の切替について.....	24	パソコンで映像を再生する.....	37
		GPSデータ再生ソフト.....	39
		よくあるご質問.....	40
		マニュアル正誤表.....	42

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項はお使いになる方や他の人への危な害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。また注意事項を誤った取扱いをした時に生じる危な害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性は想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について

	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XXはページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

警告

-  運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
-  本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本製品を分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
-  本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・交換・修理などを依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。

安全上のご注意「続き」

⚠ 警告

- ⊘ 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
- ⊘ 穴やすき間にピンや針金をいれないでください。感電や故障の原因となります。
- ⊘ 異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
- ⊘ 運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
- ⊘ エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
- ⚠ microSDカードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- ⚠ 本体固定用シリコンバンドの劣化、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行ってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
- ⊘ 本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- ⚠ 本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
- ⚠ 直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。湿度が高い所やほこりの多い所。
- ⚠ microSDカードを本製品に挿入し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
- ⚠ 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
 - ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ・本体を水にぬらしたり、落したり、強い衝撃を与えた場合。
- ⚠ 一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタブラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを抜いて保管してください。
- microSDカードを抜き挿しを行う際は、必ず車両キースイッチをOFFにし、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認後、microSDカードを抜いてください。microSDカードへのデータ書き込み中および読み込み中にmicroSDカードの抜き挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDカードの故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中のデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示され録画できなくなる場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてください。

ご使用上のお願い「続き」

- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- LED式信号機はLEDが高速で点滅しているため、信号機は点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているために、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- リヤガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、後方の道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS衛星からの電波が受信できない場合があります。
- WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、ビューワーソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証がついています。
（ただしmicroSDカードや両面テープ、シリコンバンド等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店か、PORMIDOのカスタマーサービスにお問い合わせください。PORMIDOのカスタマーサービスのメールアドレス：**service01@pormido.com**
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ご使用上のお願い「続き」

● 液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約80℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約-10℃以下になると画像が遅れで表示されたり、表示された画像が消えるのに時間かかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。

● microSDカードについて

- 付属microSDカードは本機専用です。
- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2-3年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。

※ 寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。

- microSDカードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- 本製品使用時は付属または別売オプションのmicroSDカードを使用してください。弊社製品以外のmicroSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。通常パソコンなどで使用されているファイルシステム(FATなど)に比べ、保存データの破損が少なく、万一記録データが破損しても復元する確率が高いファイルシステムです。
- 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによるmicroSDカード断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDカードを定期的にフォーマットせずご使用することができます。

本製品はmicroSDカードを定期的にフォーマットせずご使用いただけますが、microSDカードは消耗品のため、その特性上、フォーマットしていただいた方がよく長く使用することができます。

ご使用上のお願い「続き」

●新しいmicroSDカードを使用する

セットのmicroSDカードなどの新しいmicroSDカードを使用する際は、起動時に表示されるメッセージに従い、microSDカードをフォーマットして下さい。(P28)

●microSDカードの取り出し方

microSDカードを取り出すときは車両キースイッチをOFF後、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



microSDカードを軽く押し込み



少し飛び出してきたら引き抜く

※挿入する時は逆の手順で行ってください。また必ず液晶側にmicroSDカードのロゴが見えるように挿入して下さい。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

⚠ 注意

- 本製品が動作した状態(駐車監視モード中含む)でmicroSDカードの抜き挿しを行わないでください。microSDカードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず車両キースイッチをOFF後、本製品のLEDが完全に消灯したことを確認し、microSDカードの抜き挿しを行わないでください。

※駐車監視モード動作中は→(P30)をご参考にして駐車監視モードを終了させ、取り出しを行ってください。

- microSDカードをフロントカメラのmicroSDカードスロットに挿し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けください。無理に挿入すると、microSDカードスロットの破損やmicroSDカード自体の破損の原因となります。
- microSDカードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSDカード破損の原因となります。

梱包内容

- ご使用頂く前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- 万一不足している物があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。



ドライブレコーダー本体



フロントカメラ
(GPS内蔵)



リアカメラ



リア用カメラケーブル
(約9m)



中継TypeC
電源ケーブル



シガープラグコード



駐車監視ケーブル
(直結電源ケーブル)



取付ゴム



反射防止フィルム



シール式
ステッカー



配線取付セット



64GBカード
【ドライブレコーダー
本体に内蔵している】



説明書



清潔布

⚠ 注意

- microSDカードが消耗品であり、約1年を目安に交換することをお勧めします。
- microSDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- microSDカードは駐車監視モードなどの長時間録画を行うと早めの交換が必要になります。

各部名称



- ①液晶モニター ②画面表示オン/オフ切替ボタン ③microSDカードスロット
④TypeCコネクタ ⑤取付ゴム固定具 ⑥スピーカー ⑦電源ボタン
⑧TypeCコネクタ ⑨フロントカメラ ⑩室内カメラ追加する端子

⚠ 注意

- 本製品の動作中、本体表面が熱なることがありますが、異常ではありません。
- 通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。また、通気孔近は放熱のため熱くなりますのでご注意ください。

製品仕様書

ディスプレイ:12インチ タッチパネルIPS液晶(静電式)	
【録画解像度】	
フロントカメラ	2K/FHD1920×1080
リアカメラ	FHD1920×1080
【F値】	
フロントカメラ	F.NO≥1.8
リアカメラ	F.NO≥1.8
録画ファイル単位	1分/2分/3分
音声録音	オン/オフ設定可能
Gセンサー (衝撃探知)	オフ/高/中/低
駐車監視モード	衝撃検知録画/タイムラプス録画※バッテリーの電圧が低くなった場合作動しません。
エンジン連動	サポート
GPS	GPS搭載
動画ファイル	MP4
静止画ファイル	JPEG
録画モード	ループ録画
microSDカード	最大128GBサポート Class10必須
使用電圧	DC12V
使用電流	3A
消費電力	最大12W
内蔵バッテリー	無し
動作温度範囲	-20℃~+70℃
保存温度範囲	-40℃~+80℃

タッチパネルの操作について

本製品は液晶画面に直接触れる(タッチする)、または画面に触れた指をスライドする(スワイプする)ことにより操作するタッチパネル搭載製品です。

警告

運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

注意

画面をタッチする際は、必ず指で軽く触れるようにして下さい。画面を強く押したり、先の鋭いもので押すとタッチパネルが割れてケガの原因となります。



アドバイス

- 画面の反応がないときは、一度指を離してから再度タッチしてください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しない場合があります。
 - 爪の先での操作
 - 手袋をしたままでの操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - 他の指が画面に触れているなどの複数点による操作

取付方法

取付手順を確認する

以記手順を参考に取付けを行なってください。

車両にシガープラグコードを接続する/駐車監視ケーブルを接続する(P13-P14)

日時を設定する(P15)

車両に本製品を取付ける(P15-P19)

動作を確認する(P20-P36)

本体の液晶で映像を確認する
(P37)

パソコンで映像を確認する
(P37-P39)

シガープラグコードを接続する

本体の電源接続コネクタにシガープラグコードを挿し込み、車両シガーソケットにシガープラグコードを挿し込んでください。

中継TypeC電源ケーブル



⚠ 注意

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

駐車監視電源ケーブルを接続する

シガープラグコードをご使用しない、駐車監視電源ケーブルをご使用する場合、以下の方法により、接続してみてください。



⚠ 注意

- 赤色と黄色のケーブルを同じ電源に接続しないでください。
- 赤色または黄色のケーブルのみを接続してご使用になることはできません。
- バッテリー電源とアクセサリ電源は間違いないようにご確認してください。
赤配線がバッテリー電源に接続した場合、エンジン切っても、モニターの映像が表示するままの状況になる可能性があります。

日時を設定する

車両に本体を取付ける前に日時設定を行なってください。

※GPS機能がフロントカメラ一体機に内蔵しています。別にGPSアンテナを接続する必要がありません。日付設定のGPS時計がオンにする場合、GPS衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

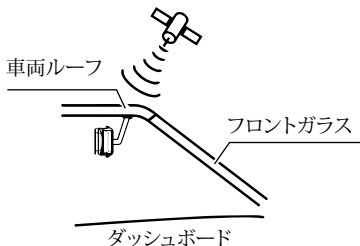


アドバイス

- GPS衛星が受信しにくい場合は、日付設定のGPS時計がオフにして、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。
- お買い上げ時やオールリセット(P33)を行なったあとなど日時情報が保存されていない場合、本製品の電源をONにするたびに、日時設定確認画面が表示されます。GPS衛星を受信するか、手動で設定を行なってください。設定を行なっても繰り返し表示される場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。

本体を取付ける

車両ルーフによって電波が受信できない



⚠ 注意

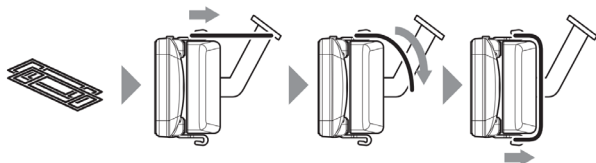
一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

本体を取付ける「続き」

本製品を純正デジタルインナーミラーや自動防眩機能付きミラーなどに取付ける場合、GPSを受信しにくくなる場合があります。

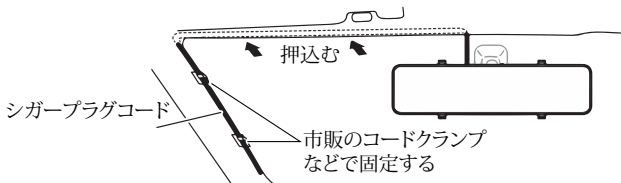
1) 本体をルームミラーに取付け、角度を調整します。

※取付け時は、ルームミラーに強い荷物が掛からないよう、ルームミラーをしっかり支えて行ってください。車体への取付け強度が弱い一部の車種(軽自動車やフロントガラス接着型の車など)では破損の原因となります。



シリコンバンドを片側のフックに引っ掛け、引っ張りながらもう1方のフックに引っ掛けます。

2) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。



⚠ 注意

取付けは確実に行ってください。落下等により、本体や車両側の破損およびケガの原因となります。

本体を取付ける「続き」

- 本製品の取付けによりサンバイザーが使用できない場合があります。
- 本製品の取付けにより純正ルームミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- 本製品は純正ルームミラーとは視界の範囲が異なります。
- 本製品は純正ルームミラーに直接取付けるため、走行時の振動や夏場の高温時にミラーがぶれてしまう場合やルームミラー自体が傾いてしまう場合があります。
- 運転の妨げにならないように、市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。
- 地デジやラジオ、ワイバー、ETC等のケーブルと一緒に束ねないようにしてください。
- 先進運転支援システムのカメラやセンサーなどへケーブルを這わせて配線を行わないでください。
- ケーブルの余長を車両ECUやブローアーマーターなどの付近へ束ねないでください。各装置より離して余長処理を行なってください。



アドバイス

- 本製品は液晶表示をOFFにした際にルームミラーとして使用できるように、ハーフミラーを採用しています。
 - ハーフミラーの特性上、車外の明るさによっては液晶表示とミラーの反射が重なり、視認性が悪くなる場合があります。その際は液晶表示をOFFにする、またはミラーに天井部分が映る程度に角度を調整することで改善される場合があります。
- ※ 手動式の防眩ミラーの場合は、切替レバーを使用し角度調整を行うことをお勧めします。その際は切替レバーを奥に倒した状態でルームミラーの調整を行なってください。

フロントカメラを取付ける

1) フロントカメラとリヤカメラを確認します。



フロントカメラ



リヤカメラ

2) 本体のフロントカメラ接続端子とフロントカメラを、付属のフロント用カメラケーブルで「カチッ」と音になるまで押し込み接続します。



※本体やフロントカメラにカメラケーブルを抜き挿しする場合は必ずプラグ部を持ってまっすぐに抜き差ししてください。斜めから差し込むなど、無理に抜き差しを行うと、端子破損の原因となります。

3) 付属のクリーナー布で取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。



リアカメラを取付ける

【車内に取り付ける】

リアガラスに設置します。カメラの固定スタンドに両面テープで固定します。



角度調整可能



⚠ 注意

- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。ネジやシートレールなどの可動部にケーブルなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
- 車体に穴を開ける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 貼り直しを行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
- 先に接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をつけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- リアカメラが防水仕様ではないですので、車外に取付しないようにご注意ください。

動作を確認する

1. GPSの受信を確認する

1) 車両キースイッチをONにし、本体起動後、GPSアイコンと速度が表示されることを確認してください。

※GPSを受信することで日時が設定されます。

※GPSの受信には数十秒～数分かかる場合があります。



GPSを受信時に表示



GPSを未受信時に表示



アドバイス

衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品のGPS機能が動かないため、GPS機能による表示が正常に動きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・森の中など)その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

2. マニュアル録画の動作を確認する

車両キースイッチをONにし、本体起動後、microSDカードがあった状態で自動に録画します。新しいmicroSDカードでしたら、「microSDカードをフォーマットして下さい」の提示もあります。表示されるメッセージに従い、microSDカードをフォーマットして下さい。(P28)



アドバイス

お買い上げ時の録音設定は「ON」になっています。設定で「OFF」にすることもできます。(P29)

動作を確認する「続き」

3. 記録した映像を確認する

本体で記録した映像を確認してください。(P36)

※「フロント/リヤ表示切替」ボタン(P24)を押し、リヤカメラの映像も正常に記録されていることをご確認ください。

【確認内容】



【動画再生する】



【写真を見る】



映像を取る

電源をONにする

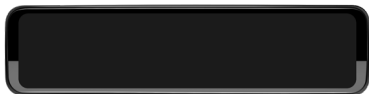
車両キースイッチをACCまたはONにしてください。



車両キースイッチを
ACCまたはONにする

電源をOFFにする

車両キースイッチをOFFにしてください。



リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを長押しして、本体システムを再起動して下さい。※リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



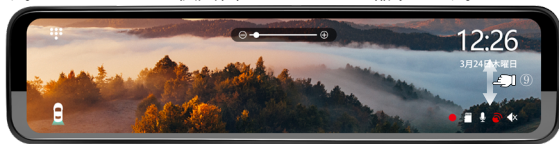
走行画面について

エンジンオンする場合、リアカメラの走行画面で起動します。



※フロントカメラ・リアカメラズーム機能进行调整 するについて

⑨の位置を指で上下スライドしてフロントカメラ・リアカメラのズーム率を設定できます。上にスライドして拡大、下にスライドして縮小します。



※液晶モニターの明るさを調整する

⑪の位置をを指で上下スライドして明るさを調整できます。



※カメラ画像のアングルを調整する

⑫の位置をを指で上下スライドしてカメラ表示アングル上下調整できます。バック連動する画面の角度がバック連動する状態にスライドして画面の角度を調整してください。次回にバック連動する時、記憶できます。「走行画面角度とバック連動する画面が違います。ご注意ください。

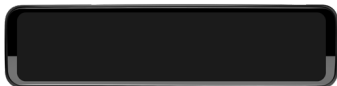


走行画面表示の切替について

●画面表示オン/オフ切替ボタンで画面表示オン/オフできます。



画面表示オンモード



画面表示オフモード

●画面表示オンモードにする場合、画面を指で左右スライドして「リアカメラ画面」「フロントカメラ画面」を切り替えできます。



リアカメラ画面



フロントカメラ画面

録画画面について

走行画面から録画画面に切替るボタンにより、録画画面に入ります。



- ① 録画開始・停止ボタン
- ② 設定ボタン
- ③ ロックするボタン
- ④ 静止画撮影ボタン
- ⑤ 録画時間表示
- ⑥ 再生ボタン
- ⑦ 戻るボタン
- ⑧ 走行画面に戻るボタン

再生メニュー画面について

録画を停止してから、再生ボタンで再生メニュー画面に入ります。



- ① 当日録画データと全て録画データを選択するボタン
- ② 動画ファイルを選択するボタン
- ③ 常時録画データ
- ④ 衝撃録画データ
- ⑤ 静止画撮影データ
- ⑥ フロントカメラ録画データ
- ⑦ リアカメラ録画データ

再生画面について

一つの録画データを選択して動画再生します。



- ①動画をロックするボタン ②再生/一時停止ボタン ③前の動画ファイル
④次の動画ファイル ⑤動画ファイルを削除するボタン ⑥再生時間

再生静止画面について



- ①ファイルを削除するボタン

設定

設定内容一覧

表内の「太字」は初期設定を示します。

項目	設定内容	参照	備考
メモリーカード	microSDカードの容量と使用状況を確認できます。	P28	
ループ録画	ループ録画を「1分/2分/3分」から選択することができます。	P29	「1分」
録音	音声録音を「ON/OFF」から選択することができます。	P29	「ON」
衝撃センサー	衝撃を検出する感度を「オフ/低/中/高」から選択できます。	P29	「中」
駐車監視 (衝撃感知)	駐車監視を「ON/OFF」から選択することができます。	P30	「オフ」
リアカメラ 上下反転(180°)	リアカメラで撮影する映像の上下方向を「OFF/ON」から選択することができます。	P31	「OFF」
リアカメラ鏡像	リアカメラ鏡像を「OFF/ON」から選択することができます。	P31	「ON」
画面表示	画面表示を「常時表示/自動オフ」から選択することができます。	P31	「常時表示」
アイコンと日付/ 時間表示	アイコンと日付/時間表示を「ON/OFF」から選択することができます。	P32	「ON」
明るさ	液晶モニターの明るさを「低/中/高」から選択することができます。	P32	「中」
音量	操作音量の音量を「オフ/低/中/高」から選択することができます。	P32	「中」
日時設定	日時設定に「GPS時計」「日付/時間」「24時間表示」の設定があります。	P33	「GPS時計」「ON」 「24時間表示」「ON」
表示言語	メニュー言語や本体操作言語を「日本語/English/中文」から選択することができます。	P34	「日本語」
GPS位置情報	GPSの情報を確認できます。	P34	
スピード表示 単位	スピード表示単位を「km/h・mp/h」から選択することができます。	P34	「km/h」
スピード表示	スピード表示を「ON/OFF」から選択することができます。	P35	「ON」
バックガイドライン	バックガイドラインを「ON/OFF」から選択することができます。	P35	「ON」
ズーム機能	ズーム機能を「OFF/ON」から選択することができます。	P35	「ON」
設定初期化	本製品に設定情報をすべて消去します。	P36	
本体情報	本機の「型番」「録画画素数」「ソフトウェアバージョン」「MCU」の情報を確認することができます。	P36	

メモ리카ード

- microSDカードの容量と使用状況を確認できます。
- microSDカードの内部データを消去し初期化を行います。「SDカードの初期化を行っても本体の設定情報は保持されます」
- microSDカードを初期化する方法
設定画面から、メモ리카ードの設定に入って、「フォーマット」をタッチして、初期化確認画面で「OK」タッチするとmicroSDカードが初期化されます。

メモ리카ード



microSDカード容量

26.8GB

● Video 17.9GB ● Photo 6MB ● Other 1MB Capacity: 28.8GB

フォーマット



アドバイス

- microSDカード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に内部データのバックアップを行ってください。
- 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。
- 新しいmicroSDカードやはじめに使用する場合は、microSDカードの初期化を行ってください。

ループ録画

- ループ録画を「1分/2分/3分」から選択することができます。
- 設定内容
 - 「1分」 1データごとの録画時間が1分に設定します。
 - 「2分」 1データごとの録画時間が2分に設定します。
 - 「3分」 1データごとの録画時間が3分に設定します。
- お買い上げ時は「1分」に設定されています。

ループ録画

1分

2分

3分

録音

- 音声録音を「ON/OFF」から選択することができます。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

録音



衝撃センサー

- 衝撃を検出する感度を「オフ/低/中/高」から選択できます。
- 「オフ」に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- お買い上げ時は「中」に設定されています。

衝撃センサー

オフ

低

中

高

駐車監視(衝撃感知)

- 駐車監視を「ON/OFF」から選択することができます。駐車監視が「ON」に設定される場合、「タイムラプス録画間隔時間」を設定することができます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
- 「タイムラプス録画間隔時間」を「オフ/1秒/0.5秒/0.2秒」から選択することができます。お買い上げ時は「オフ」に設定されています。
- 「タイムラプス録画間隔時間」を「0.2秒/0.5秒/1秒」に設定する場合、「タイムラプス動作時間」を「48時間/24時間/12時間/常時」に設定できます。また、「車両バッテリーの電圧保護」を「11.8V/12.0V/12.2V」に設定できます。

駐車監視 (衝撃感知)



駐車監視



タイムラプス録画間隔時間

オフ

1秒

0.5秒

0.2秒

タイムラプス動作時間

48時間

24時間

12時間

常時

車両バッテリーの電圧保護

11.8V

12.0V

12.2V



注意

駐車監視機能をご使用する場合、駐車監視ケーブルをご使用する必要です。

リアカメラ上下反転(180°)

- リアカメラで撮影する映像の上下方向を「OFF/ON」から選択することができます。リアカメラの設置場所により「OFF/ON」を変更してください。
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

リアカメラ上下反転 (180°)



リアカメラ鏡像

- リアカメラ鏡像を「OFF/ON」から選択することができます。「OFF」にする場合、リアカメラ映像が正像になります。「ON」にする場合、リアカメラ映像が鏡像になります。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

リアカメラ鏡像



画面表示

- 画面表示を「常時表示/自動オフ」から選択することができます。
- お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。
- 設定内容

【常時表示】

液晶モニターを常に表示し、撮影している映像を表示します。

【自動オフ】

液晶モニターの表示を行いません。画面をタッチした時のみ、液晶モニターにフロントカメラまたはリアカメラ、また、車内カメラの映像を10秒間表示し、消灯します。消灯しても、録画続いています。

画面表示

常時表示

自動オフ

アイコンと日付/時間表示

- アイコンと日付/時間表示を「ON/OFF」から選択することができます。
「ON」に設定する場合、走行画面にはアイコンと日付/時間表示します。
「OFF」に設定する場合、走行画面にはアイコンと日付/時間非表示します。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

アイコンと日付時間表示



明るさ

- 液晶モニターの明るさを「低/中/高」から選択することができます。
- 液晶モニターの明るさを自動に調整できません。
- お買い上げ時は「中」に設定されています。

明るさ

低

中

高

音量

- 操作音量の音量を「オフ/低/中/高」から選択することができます。
- お買い上げ時は「中」に設定されています。

音量

オフ

低

中

高

日時設定

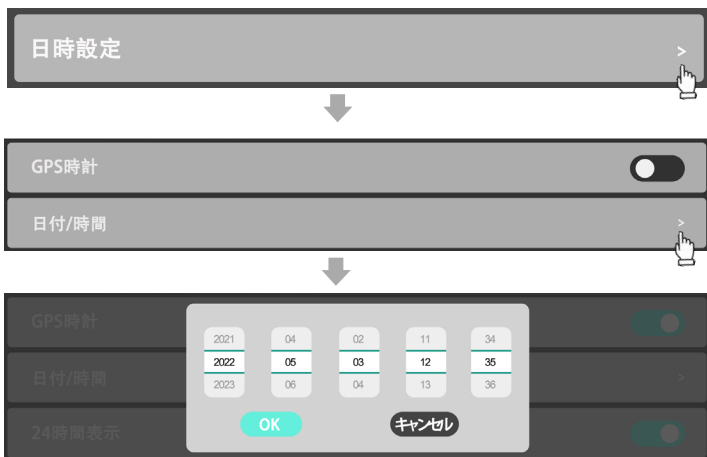
- 日時設定に「GPS時計」「日付/時間」「24時間表示」の設定があります。
- 設定内容

【GPS時計】

GPS時計を「ON/OFF」から選択することができます。「ON」に設定される場合、GPS衛星を受信すると自動的に日時を設定します。「OFF」に設定される場合、手動に日付/時間を設定することをお勧めします。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

【日付/時間】

GPS時計がOFFに設定される場合、手動に日付/時間を設定できます。お買い上げ時は「GPS時計」が「ON」に設定されています。



【24時間表示】

24時間表示を「ON/OFF」から選択することができます。お買い上げ時は「ON」に設定されています。



表示言語

- メニュー言語や本体操作言語を「日本語/English/中文」から選択することができます。
- お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

表示言語



日本語

GPS位置情報

- GPSの情報を確認できます。

GPS位置情報



経度/緯度

スピード/方向

GPSステータス

--

--

測定していません

28

29

00

00

00

00

00

00

00

00

00

00

00



08

22

00

00

00

00

00

00

00

00

00

00

00

スピード表示単位

- スピード表示単位を「km/h・mp/h」から選択することができます。
- お買い上げ時は「km/h」に設定されています。

スピード表示単位

km/h

mp/h

スピード表示

- スピード表示を「ON/OFF」から選択することができます。「ON」に設定する場合、走行画面にスピード表示します。「OFF」に設定する場合、走行画面にスピード非表示します。
- お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

スピード表示



⚠ 注意

スピード表示を「ON」に設定する場合、走行画面に「カメラ状態表示」のアイコンが非表示します。

バックガイドライン

- バックガイドラインを「ON/OFF」から選択することができます。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

バックガイドライン



ズーム機能

- ズーム機能を「OFF/ON」から選択することができます。「ON」にすると場合、フロントカメラ・リアカメラ映像の様子が拡大表示を設定できます。
- お買い上げ時は「ON」に設定されています。

ズーム機能



設定初期化

- 本製品に設定情報をすべて消去します。

設定初期化



本体情報

- 本機の「型番」「録画画素数」「ソフトウェアバージョン」「MCU」の情報を確認することができます。

本体情報



型番

PRD52C

録画画素数



ソフトウェアバージョン

1.6.09.20220309

MCU

1.3.33.20201129



フロントカメラ

2K(2560×1440)

リアカメラ

1080P(1920×1080)

映像を見る

本体で映像を再生する

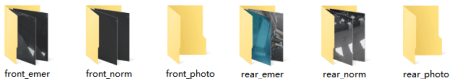
1. 録画面面に録画を停止してから、再生ボタンで再生メニュー画面に入ります。



2. 再生するファイルをタッチして映像の再生が始まります。



パソコンで映像を再生する



※パソコンのOS等により表示が異なる場合もあります。

パソコンで映像を再生する「続き」

録画済みのmicroSDカードをパソコンに読み込むと、「fornt_norm」「rear_norm」「fornt_emer」「rear_emer」「fornt_photo」「rear_photo」のファイルがあります。

【norm】

は正常の録画ファイルです。「fornt_norm」がフロントカメラの正常の録画ファイルです。「rear_norm」がリアカメラの正常の録画ファイルです。

【emer】

は事件が発生する時、緊急にロックされたファイルです。

「fornt_emer」がフロントカメラのロックされた録画ファイルです。

「rear_emer」リアカメラのロックされた録画ファイルです。

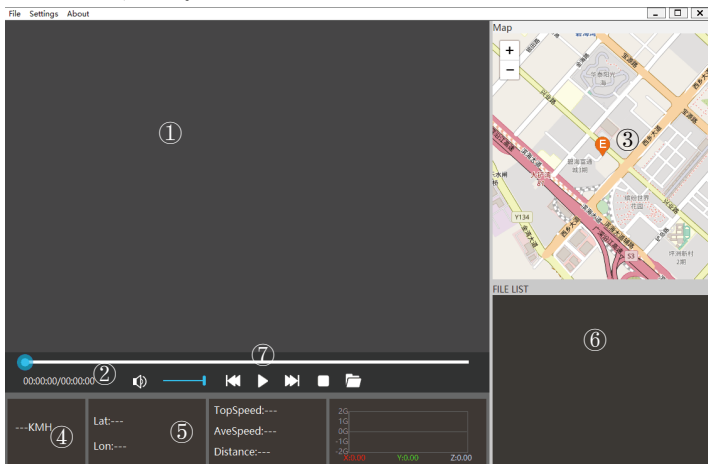
【photo】

は撮った写真ファイルです。「fornt_photo」がフロントカメラの写真です。

「rear_photo」がリアカメラの写真です。

GPSデータ再生ソフト

ファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」を使用することでGoogle Mapなど連動して録画再生できます。「いつ」「どこ」「どのぐらいの速度」など様々な走行データを確認することが出来ます。初めて使い方はファイル再生ソフト「CAR DVR PLAYER」をインストールしてください。「CAR DVR PLAYER」の再生ソフトがよく更新しますので、本製品のページのリンクが最新ソフトです。本製品ページのリンクに入ってダウンロードしてください。



①再生画面：再生画面が表示します

②スクロールバー：スクロールバースクッドラッグで巻戻し、早送りが可能です

③地図表示：地図上で車の位置を表示します

④速度：走行中の速度を表示します

⑤方角情報：走行中の方角情報を表示します

⑥再生リスト：再生リストにデータ一覧が表示されます

⑦再生・停止ボタン：動画を再生・停止できます

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。以記内容をご確認ください。

電源が入らない	●シガーブラグコード内部のビューズが切れていないか確認してください。シガーソケットの指示灯が点灯しているかどうかご確認ください。
電源が入っている、オンできない	●シガーソケット電源がきちんと入っていることをご確認した場合、リセットしてみてください。また、車内の温度をご確認ください。温度が高すぎる場合、オンできない場合もあります。
録画できない、録画を開始するとすぐに停止する	●microSDカードが挿入されていることをご確認ください。 microSDカードの容量をご確認ください。 ●通常は日時が古いデータから上書きされますが、保護ロックファイルは上書きされないため、保護ロックを解除してからファイルを解除してください。重要なファイルな削除を行う前に、バックアップを行ってください。
再生画面が入ってから、何も操作できない	●microSDカードが入れていない場合、あるいは、microSDカードには録画ファイルない場合、再生画面は入ってから、何も操作できない状況が出ます。この状況が出る場合、電源がオフしてください。そして、オンして回復します。
画面がフリーズする、何も操作できない	●リセットボタンを押して、システムを再起動してください。
リアカメラが映し出さない	●中継線のUSB-C接続端子を左側に差し込んでください。正しく接続しないと、リアカメラ信号が認識できない可能性があります。
GPS衛星を受信しない	●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか。 ●本体周辺に電波を遮断する物はありませんか。

よくあるご質問「続き」

事故の衝撃映像が保存されていない	●事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。
microSDカードの容量がいっぱいになったらどうなりますか	●microSDカードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
microSDカードに録画データが保存されていない	●microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約1年に交換することをお勧めします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
本体が熱くなる	●本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。
起動しなくなったり、動作が不安定になる	●microSDカード内に本機以外のデータが保存されていませんか？ ●必要な映像をパソコンへ保存してから、本体でmicroSDカードの初期化を行ってください。
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSDカードがパソコンで認識されない	●お使いのSDカードリーダーはSDHC規格に対応していますか。付属のカードはmicroSDHCカードのため、SDHC規格に対応している必要があります。

マニュアル正誤表

マニュアル正誤表「続き」